

令和4年度 年間授業計画

都立田無工業高等学校

教科・科目		家庭 家庭総合		単位数	2
対象学年・組		3学年全クラス	教科担任	MA:成田 MB:成田 AA:成田 AB:成田 CA:成田	
教科書 ・ 副教材		家庭総合 自立・共生・創造 生活学Navi			
1. 目標					
・ 1、2学年で習得した家庭総合を発展させ、実生活での活かし方を講義・実習で習得させる。					
・ 2、成人年齢引き下げによる18歳年齢の重さを、他人ごとではなく自らの責任として感ぜられるように導いていく。					
・ 3、今年成人する生徒たちの危機管理能力を養うための一助とする。					
2. 学習内容と学習上の留意点					
学期	月	単 元	指導内容・指導目標		予定時数
1 学 期	4	2学年の復習	2学年の時に習った内容を確認、復習		4
	5	2学年の復習	2学年の時に習った内容を確認、復習		6
	6	第7章 衣生活を作る	自らの制服の意味合いを考える(。制服・作業着) 社会人としての被服		8
	7	第5章 経済生活を営む	成人年齢の引き下げによる不利益と責任について問 いかけ、実生活に置き換え考えさせる。		4
	1学期授業時数計				22
2 学 期	9	第6章 食生活をつくる	栄養素について考え自分の食生活の改善点をあげ、 よりよい食生活について感がさせる。実習・復習		8
	10	第3章 高齢社会をいきる	高齢社会と家族と地域社会の連携を考えさせる。講 義・実習・調査を実施する。		8
	11	第3章 高齢社会をいきる	健康年齢と平均寿命について、自分の考えを調べ発 表させる。		6
	12	第2章 子どもと共に育つ	親として育つ責任、保育環境・おもちゃ作成		6
	2学期授業時数計				28
3 学 期	1	2年間のまとめ	発表内容に対しての自分の考えをレポートにまとめ る。		3
	2	期末考査			
	3				
	3学期授業時数計				3
年間授業時数合計					53
3. 評価の観点・方法					
1、自ら問題意識を持ったも行動ができるか、積極的に授業に参加しているか。					
2、社会人として人の意見をしっかり聞きことうができるが、レポートを通し判断する。					
3、定期テスト。実技テストを通して知識の・技術の確認をする。					
4、作品の提出がない場合は単位の修得は認めない。					